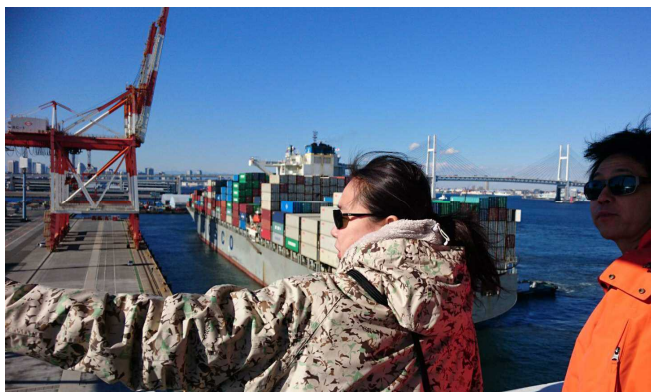


東京湾水先区水先人会（神奈川県横浜市）

東京湾を知り尽くすプロフェッショナル

水先人は公共性の高いヤリガイのある職業です！男女全て平等



2011年、一般商船履歴なし三級水先人として入会した西川水先人、2015年二級水先人に進級し今では後輩の水先人を指導するまでになりました。2020年からは一級水先人進級課程へ進む予定です。朝のラッシュ時間帯の横浜港にて、修業生を帯同し出港船の操船をする姿はたくましい。

水先人会とは

水先人会は国家資格を持った個人事業主の集まり

東京湾水先区水先人会は、水先人という国家資格を持った個人事業主で構成され、水先人の会費で運営されています。現在、170余名の水先人のうち、女性水先人は4名です。乗船できる船の大きさには制限があり、毎年ステップバイステップでベテラン水先人の指導を受けながら徐々に大きな船の業務ができるようになり、既に後輩を指導するまでになった方もいます。

水先人の免許は一級、二級、三級と3種類あり、全く乗船履歴のない三級水先人は、水先会に入会后、約4年で二級水先人養成課程へ、その後も二級水先人で経験を積み約5年で一級水先人養成課程へ進むことができます。三級水先人入会后約10年で全く男女差なく実力次第で一級水先人に進級することができるよう水先会でバックアップします。

職場環境

水先人は個人事業主なので全ては自己責任

基本的に毎回違う船に乗り込みバースに向かうことになりませんが、季節や時間帯、気象・海象も違うことから常に適度の緊張が必要で、慣れるとこれが心地よく感じ、仕事を完遂したときの達成感もまた格別です。

東京湾には、浦賀水道航路・中ノ瀬航路など特別な交通ルールが定められた海域があり、主要な港として横浜港、川崎港、東京港、千葉港、木更津港、横須賀港が存在し、船が着けられるバースは500以上もあります。

水先人には昼夜を問わず24時間、水先業務の要請があれば応えなければならない義務があり、いろいろな時間帯をカバーする当直制度をとっています。基本的な就業日は、2日連続して仕事をしたら1日休み、それから3日連続で仕事をしたら2日休み、これを4回繰り返すと連続7日間か8日間の長期休暇も取得できます。その他、特別休暇、リフレッシュ休暇、休業などの自己都合で休むことができる制度もありますが、個人事業主なので休めば当然収入にも影響します。

船は動いており、時としていろいろなトラブルに見舞われることもあります。水先会としてできる限りのバックアップはしますが、基本的に自己責任という厳しさはあります。



貨物船の船橋で操船をする田部井三級水先人、使用するタグボートに無線で指示を出す。安心した表情で見つめる本船のフィリピン人船長、イキイキとした表情の田部井氏は2015年9月入会、2019年9月進級二級水先人としての業務が始まる。本船の乗組員が特に女性水先人に、紳士的な対応をしてくれるのが有難いです。



2011年、一般商船履歴あり三級水先人として入会した室村水先人、順調に進級し西川氏と共に2020年から一級水先人養成課程へ進む。水先業務を終え、本船船長より「Thank You, Good Job!」と固い握手をされると、その時の達成感と充実感は水先人になって良かったと本当に思える瞬間です。

水先会会の概要

東京湾水先区水先人会

代表者：竹中 五雄（会長）

所在地：神奈川県横浜市

中区山下町1-2

事業内容：水先業

会員数：161名

（令和3年4月時点）



URL: <http://tokyobay-pilot.jp/>